



ほつとするね
緑の府中

指導室 だより

第 69 号

編集・発行 府中市教育委員会教育部指導室
〒183-8703 府中市宮西町2-24
電話 042-335-4063

「自分の命は自分で守る」 ための力を身に付けよう

保護者も参加しセーフティ教室が行われる

府中市立南白糸台小学校

南白糸台小学校奈良寛校長
では、5月28日(木)に府中警察署(生活安全課少年係、スクールサポーター、車返駐在所)職員5名の指導の下、「セーフティ教室」を実施した。

このセーフティ教室は、「小、中、高、特別支援学校において児童・生徒の健全育成の活性化及び充実を図るとともに、学校・家庭・地域社会の連携による非行・犯罪被害防止教育の推進に資する」というねらいのもとに都内の公立学校の全てで行われている活動である。

当日の訓練は、一・二・三年生とその保護者、四・五・六年生とその保護者の2回に分けて実施された。

1 一・二・三年生の部では、
①不審者からの逃げ方
②防犯ブザーの使い方
③DVD「ユークィでやっつけろ！」の鑑賞等の指導があった。
実技指導では、下校途中で出くわした不審者から身を守るた



府中警察署職員の話真剣に聞く1・2・3年生

めの訓練が行われた。実際の場面では、大きな声で「助けてー」と言えるかどうか、勇気がある。とっさの時に備えて、例えば、家や学校で、「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」「ただいま」など、挨拶の言葉を通して、声を出す練習をすることが大切であるとの指導があった。
また、防犯ブザーの使用では、

かばんの前(すぐに音が出せる所)に付けることやいたずらしない等、防犯ブザーは、自分を守るための大切な道具であることとの指導があった。

DVD鑑賞では、不審者の出没の具体的な場面を通して、自分で判断する訓練を行い、一人で遊ぶのは危険、知らない人

には絶対についていけない、等の指導があった。

2 四・五・六年生の部では、

①不審者・連れ去りからの被害防止

②万引きやカード売買等の非行防止

③DVD「強い心で考えよう」の鑑賞

④携帯電話やインターネットなどによる被害等についての指導があった。

児童が自分で判断する力を身に付ける訓練では、人通りが多い所と少ない所、見通しの良い公園と悪い公園等の事例を元に「どっちが安全」かを考えさせ、被害に遭いそうになった時の行動の仕方について指導があった。

また、インターネットの扱い方では、使い方を誤ると他人を傷つけたり、被害に遭うこともあるので、正しい知識を身に付

「いかのおすし」を徹底しましょう!

- ◇ いかない
- ◇ のらない
- ◇ おおごえを出す
- ◇ すぐになげる
- ◇ しらせる

けることが大切であるとの指導もあった。
3 保護者の部では、
①子どもに関する犯罪のこと
②変質者等に関すること
③携帯電話の扱い方等についての講話があり、非行・犯罪被害防止教育推進の機会となった。



不審者から逃げる実技訓練4・5・6年生



環境教育の推進

矢崎小学校の実践から

府中市立矢崎小学校

校長 高橋 大造

日本人は礼節を重んじ、勤勉で清潔好きな人たちであると語る外国人が多くいる。

たしかに、美しいものに感動する心、相手を思い遣る優しさは、だれにも負けないであろう。この日本人の優れた力は、美しい日本の風土、自然から生まれてきたものだと考えられる。

今、限りある地球の自然が危機にさらされている。自然を上手に生かし続けてきた日本人の叡智は、ここに来ていっそうの努力を必要とされている。

府中市は、東京の中でも自然の多く残る緑豊かな地域である。ここで育つ子どもたちに自然を大切にすゝめ、環境に対する関心は老若男女皆深いものと思う。

【府中市学校教育プラン21の中の環境問題】

環境問題

府中市は「環境問題」を「府中市学校教育プラン21（教育振

興基本計画」の中に位置付けている。

府中市学校教育プラン21が策定されたのは、平成15年3月である。

21世紀に府中市がめざす教育行政の指針であり、「心豊かでたくましい子ども」を育てたい子ども像と位置付けて推進するものである。この年より第一期事業実施計画期間がスタートした。

今日に至るまでには、高度情報化や国際化が進展するとともに、環境問題等が大きな社会問題になるなど教育を取り巻く様々な状況は日々変化している。

本市でも本年度から実施する第三期の事業実施計画策定に当たり、新たに環境問題への取り組みを加えるなど計画の再構築が図られた。

【環境（エコ）教育 矢崎小学校での実践】

本校では、以前より総合的な

廊下にゴミの分別の大切さが描かれたポスターが掲示され、階段の踊り場や、教室前に手作りのゴミ箱が置かれた。四年生一人一人の活動が全校児童の活動へと広がっていった。

【誇りをもてる

ふるさと府中を創り、世界に活躍する 府中っ子を育てる】

願いを込めて

子どもたちが、やはり言葉のようにエコを唱えるのではなく心から自然を取り戻すことの大切さを感じるためには、まず現状を知ることから始める必要がある。

四年生は、「多摩川探検隊」の活動を通して、季節ごとに多摩川の観察を記録した。多摩川の良さを見つけるとともに、ゴミの多さに気づいた。現状を知ったあとは、きれいになった川に魚が戻り、森の生態系が正常になり夏の気温が少しでも下がりが、地球が元の姿に近づくことをイメージすることが重要だと考える。

実際多摩川クリーン作戦を通して、ゴミという側面から多摩川を見つめることによって自分の住む郷土の自然を守りたいという気持ちが育った。

また、この活動を通して自ら率先し、実践しようとする意識が芽生え始めた。

子どもたちは、府中の豊かな自然も人間の手によって汚されていることに気づき、多摩川の自然を守りたいという思いをもとに、自ら率先してゴミ拾いなどの活動を始めた。

これからさらに子どもたちは『地球が悲鳴を上げている、何とかしなくては。では、僕たち、私たちにできることは何!？』と問いかけ、考え、実践するだろう。

各学年によって反応は異なるが、大変だと思ったときの子どもたちの行動は早い。そんな時家族は、大人は、その言葉に、行動に、答え、できることから是非一緒に取り組んでほしいと思う。受け止める大人たちの真摯な態度が重要だと思う。

こうして学んできた子どもたちが、自ら率先して、楽しんで自然にエコを実践し、将来大人になったとき、子どもたちに手本を示してほしい。そして、自然豊かな日本を誇りに世界にその手本を示せる人間に育ってほしい。



わが校の特色ある教育 NO. 33

本校に咲く 「き・す・げ」

～今年度の教育スローガンに寄せて～

府中市立浅間中学校

副校長 鈴木 真人



朝読書

して、相手の心に届くあいさつ
をかわせるよう、今後とも指導
し見守っていききたい。

【朝読書】

本校の活動は8時25分、生徒
の読書活動で始まる。

相手を気づかい適切にコミュ
ニケーションをとる基礎に読書
があること、確かな学力や生き
る力の根底において、読書の果
たす役割の非常に大きいことを
教師・大人は知っている。朝10
分間、眠そうな生徒も見受けら
れるが、ほとんどの生徒が良い
表情で担任と共に前向きに取り
組んでいる。

【調べ学習】

生徒の活動を観察していると、
各教科・総合的な学習の時間に、
多様な調べ学習をしていること
に気付く。授業内での発表の他
に、通信で紹介されたり、教室
の後ろや廊下に掲示されるもの
もある。そうした掲示物は見て
いるだけでも生徒の心の動きが
伝わってきて楽しい。

【あいさつ】

コミュニケーションはあいさ
つから始まるとよく言われる。
幸いご家庭の指導があつく、本
校生徒には来校者から「気持ち
よくあいさつしてもらいました」
というお褒めの言葉をいただく。
上級生のあいさつをみて、下級
生のあいさつも徐々に様になっ
てきている。本校の良き伝統と

楽しみを知り、知的な好奇心を
広げていく。

【少人数授業】

21年度からの取り組みとして、
三年生の数学の授業を少人数展
開で実施している。通常の授業
に比べ、生徒一人一人の学習状
況をまざまざと知ることができ
るようになる。他の教科に比べ、
学習進度に差がつきがちな教科
で、学習の進んでいる生徒、遅
れがちな生徒のそれぞれに目が
行き届き、これまで以上に個々
の生徒に適切な指導を加えるこ
とが可能となる。

授業にあたっては、講座ごと
の不公平感がないように、授業
の進度、評価方法について綿密
な打合せを行っている。今年の
実践を評価し、成果と課題を明
らかにして、次年度以降に継続
していききたい。

【放課後補習】

数学を苦手とする生徒を対象
として、放課後の補習を週一度
実施している。参加は希望制で、
年度当初に参加の希望をとって
行っている。指導には、本校の
数学TT講師と、教育ポラン
ティアの方があたっている。粘
り強く出席を続けている生徒が
多く、楽しみである。得手不得
手によらず、前向きに元気に学
習に取り組む場を今後とも学校
として提供し続けたい。

【生徒会活動】

生徒会活動も活発に活動して
いる。中でも、年数回の募金活
動での社会貢献、落ち葉掃き、
地域清掃での地域貢献は伝統的
に生徒会活動の主軸となってい
る。また現代的な意義を帯びて
アルミ缶やエコキャップの回収
にも取り組んでいる。

学校に多様な要望が寄せられ
る中、食・環境・健康などの面
で生徒会は先導的な役割を果た
してきている。今後とも積極的
な活動に期待が寄せられる。

我が町、我が国に愛着と誇り
を持ち、自らの言葉で相手とコ
ミュニケーションのとれる生徒
を今後とも育てていくべく、こ
うした取り組みの成果を着実に
上げていきたい。



生徒会地域清掃

わが校の特色ある教育 NO. 34

感じ・考え・創造する子の育成

—思考力を育てる国語科指導の工夫—

～書く活動を通して～

府中市立府中第一小学校

研究主任 渡部 アヤ子

一 はじめに

本校では、平成20・21年度の府中市教育委員会研究協力校として、研究主題を『感じ・考え・創造する子の育成』とし、研究副主題を『思考力を育てる国語科指導の工夫』書く活動を通して』として、研究を進めてきている。

昨年度（一年目）の取り組みの成果や課題をふまえ、今年度は、さらなる実践による検証を行い、11月13日には、この2年間の研究の成果をまとめ、研究発表を行う予定である。

二 主題設定の理由

新学習指導要領では、「基本的な知識・技能」の習得とともに、これらを活用して解決するために必要な「思考力・判断力・表現力」の育成が示されている。

その背景には、国際的な学力調査(OECDのPIISA調査)や全国学力・学習状況調査などから、思考力・判断力・表現力等を問う問題についての課題が多いという結果が示されたことがある。本校の児童の実態調査(PIISA型読解力)においても、同様の傾向が見られた。

そこで、「PIISA型読解力」育成の考え方を背景に置きながら、『思考力』とりわけ『論理的思考力』に着目して研究を進めていくことにした。筋道を立てて考える力を伸ばすためには、まず、自分の考えをもち、表現するための「言葉の力」を高めることが大切であると考え、教科を国語科に絞った。

国語科では、文章を正しく読む力、そしてそれを基にして考える力、分かりやすく表現する力を育てることが大切と考えた。深く思考させるためには、目的や意図をはっきりもたせて「書く活動」を取り入れることが望ましいと考え、標記の研究主題を設定した。

三 研究の組織

★研究分科会

低・中・高の三分科会に分かれて、授業研究を進めている。今年度は、一学期に各分科会で1回ずつ研究授業を行い、同じ学年で先行授業を行う。

★研究運営部会

三部会に分かれて、授業研究を進めるに当たっての土台作りや研究発表会に向けての準備を進めている。

① 語彙力アップのための教材作成・掲示物の作成

② 研究紀要・当日指導案の作成

③ 研究発表会の案内状や発表会関連のスケジュールの作成・校内の環境整備

四 研究の内容

★目指す児童像の設定

最終目標（卒業時にどんな力を付けてほしいか）を話し合い、発達段階を考慮して、付けたい力を設定した。

【論理的思考力】

低：取り出した事実を比較して考える力

中：取り出した事実を比較し、それらを関連付けて考える力

高：取り出した事実を比較したり、それらを関連付けたりして、総合的に考える力

★思考力を育てるための手だて

① 児童の実態を探る。

② 学習活動の中に深く「考える」場面を位置付ける。

③ 「文型・話型」を取り立てて全学年で指導する。

④ 思考力を支える語彙力をアップさせるための工夫をする。

⑤ 基礎の時間を使った読書指導や語彙指導の充実

⑥ 比較・順序・理由・分類・例証・類推などの思考法を『考えるヒント』として提示

⑦ 思考力を支える語彙力をアップさせるための工夫をする。

⑧ 基礎の時間を使った読書指導や語彙指導の充実



2年「絵をよく見てお話をつくろう」

五 これからの研究

研究発表に向け、次の点に留意し、さらに実践を深めていく。

★授業研究の充実

授業の中で、児童の心が揺さぶられるような深く考えさせる場面をしっかりと設定し、思考を促すような発問や題材学習形態などを工夫する。そのためにも、もう一歩踏み込んだ教材分析や教材研究を行う。また、指導案にもそれを反映させる。

★語彙指導の充実

① 語彙力アップ（意欲・関心）

② 思考法トレーニング

③ 次の授業につながるものこのような観点から教材を工夫したり、開発したりする。



5年「新聞記事の見出しを考えよう」

平成21年度 府中市教育委員会主催夏季研修会一覽

No.	研 修 名	対象	定員	期 日	会 場
I 五市合同夏季専門研修					
1	国語「言語力の育成を図るための授業づくり」	小	50	7/23・24	調布市民プラザあくろすホール
2	国語「言語活動の充実を図る授業づくり」	中	40	7/31 午後	府中市立教育センター
3	社会「これからの社会科の授業づくり」	小	50	7/30・31	武蔵野総合体育館大会議室
4	社会「新学習指導要領及び移行措置のポイント」	中	40	7/29	武蔵野総合体育館大会議室
5	算数「算数の時間を充実させる授業づくり」	小	40	7/28・29	狛江市立小学校
6	数学「新学習指導要領の視点を踏まえた授業改善の在り方」	中	40	8/3	武蔵野総合体育館大会議室
7	理科「理科好きな児童を育てる指導の工夫」	小	40	7/30・31	狛江市立小学校
8	理科「科学への関心を高める教材と指導の在り方」	中	40	7/30	府中市立教育センター
9	生活「活動や体験を重視した指導のポイント」	小	30	8/7	府中市立教育センター
10	図工・美術「すぐに役立つ実技研修と児童・生徒の見方や考え方を深めるための指導の工夫」	小・中	40	8/3	狛江市立学校
11	音楽「音楽を楽しむ心情を育てる授業づくり」	小・中	40	7/22	武蔵野市立第二小学校
12	体育「これからの体育の授業づくり」	小	40	7/30	調布市教育会館・富士見台小
13	保健体育「運動の特性を踏まえた指導の改善と充実」	中	40	7/28	三鷹市教育センター
14	家庭「発達段階に応じた指導の充実」	小・中	30	7/30	三鷹市教育センター
15	技術「生徒が意欲的に取り組み、ものづくりを支える能力を育成する指導の工夫」	中	40	7/29	都立府中工業高等学校
16	英語「コミュニケーション能力の基礎を養う指導の工夫」	中	40	7/22	調布市たづくり会館
17	道徳「児童の自尊感情をはぐくむ道徳の時間の在り方」	小	50	8/3・4	調布市教育会館
18	道徳「道徳の時間を楽しみにする子供を育てる」	中	40	7/31	三鷹市教育センター
II 不登校対応研修					
25	【講義】「不登校問題概論と不登校児童・生徒の対応について」 【事例研究】「不登校の児童・生徒の事例研究」	小・中	33	7/30	府中市立教育センター
III 学校教育相談研修					
26	【講義・演習】「教育相談の基礎・基本」 「協働学習の理論と実践」 【講義・演習】「行動分析の理論と実践」 「アーサーショントレーニングの理論と実践」	小・中	60	7/27 7/28	府中市立教育センター
IV IT研修					
30	Word&Excel（中級）「応用的な機能の活用」		40	7/23 午前	府中第一中学校
31	ホームページ・ビルダー（初級・中級） 「ホームページ作成の基礎」		40	7/23 午後	府中第一中学校
32	情報モラルコンテンツ「コンテンツの応用」		40	7/22 午前	府中第一中学校
33	情報モラルコンテンツ ※午後も同内容		40	7/22 午後	府中第一中学校
V 選択課題研修					
40	和太鼓実技研修「和太鼓の基礎から応用」		20	7/23・24	府中第三小学校
41	書写実技研修「書写（毛筆）の実技と指導法」		20	7/21・22	府中市立教育センター
42	英語活動研修	【基礎】 「小学校英語活動の充実を目指した指導法の改善」 (すべての講座は同内容) 【発展】 「小学校英語活動の充実を目指した指導法の改善」 (すべての講座は同内容)	40	7/22 午前	府中市立教育センター
43	英語活動研修		40	7/22 午後	
44	英語活動研修		40	7/23 午前	
45	英語活動研修		40	7/23 午後	
46	英語活動研修		40	8/4 午前	
47	英語活動研修		40	8/4 午後	
48	英語活動研修		40	8/5 午前	
49	英語活動研修		40	8/5 午後	
50	福祉施設体験研修「高齢者福祉体験全般」			30	
51	企業体験研修「企業経営、接客、販売、商品管理等の体験」		3	7/29・30・31	イトーヨーカ堂府中店
52	学級経営研修「学級活動をととした、学級経営」		40	7/29 午後	府中市立教育センター

7月研修会・委員会等予定	日	曜	研修会・委員会等	会 場	研 修 内 容 等
	2	木	算数・数学指導員研修	新 町 小 学 校	授業参観、協議
	3	金	I C T活用推進委員会	教 育 セ ン タ ー	全体会、分科会
	6	月	生活指導主任会	教 育 セ ン タ ー	全体会、分科会
	6	月	特別支援学級代表者会	教 育 セ ン タ ー	全体会、分科会
	9	木	教務主任会	教 育 セ ン タ ー	全体会、分科会 ※8/20(木)も実施
	10	金	人権教育推進委員会	教 育 セ ン タ ー	全体会
	10	金	学校図書館推進委員会	教 育 セ ン タ ー	全体会
	10	金	体力向上委員会	府 中 第 一 中 学 校	全体会
	13	月	事務職員研修	教 育 セ ン タ ー	全体会
	14	火	初任者等研修会	教 育 セ ン タ ー	全体会



「うちの子、落ち着いて本を読もうとしないんです。」
 「ようやく机に向かったと思っただのに、すぐに飽きてしまっただけです。」

時々、保護者の方から何う言葉だが、これは読書や学習に対する集中力に関する問題と云える

では、どうしたら集中力が高まるのだろうか。

この点について外山滋比古氏は、「空気の教育」(福武文庫)という言葉を使って説明している。これは、明確には見えないが、その

子を包んでいる学校や家庭の雰囲気の意味する言葉であり、毎日繰り返される習慣の中にこそ意欲を育てるヒントがあるというものである。

WBC日本代表選手として活躍し、また今春日本プロ野球最多安打記録を打ち立てたイチロー選手のこんな記事を目にした。

集中力を育てる 習慣の重み

イチロー選手の生活は、「ルーティン」と呼ばれる決まった動作の連続で成り立っているのだという。球場入りから試合後帰宅するまでの手順、更には、遠征先のレストランや注文する食事のメニューまで決まっていることが多いというから驚く。

イチロー選手のトレーナーは、「この行動のパターン化こそが、精神面の浮き沈みを少なくし、集中力を高める方法」なのだとしている。

成21年4月17日) あれほどドラマチックな場面が似合う人には意外だが、このような地道な「行動のパターン化」こそが、雑念を払い、集中力を高める要因の一つになっているのであろう。

外山氏は、「心の空気」を「形式×繰り返し×時間」と表している。夕食のあと、まずは30分ほど家族で本を開いてみる。今日の出来事や授業について内容を振り返ってみる。このような積み重ねがやがて習慣となって表れてくるのではないだろうか。

(指導主事 乙幡 英剛)

学びの窓

子供の声があふれる美術館

府中市美術館

教育普及担当主査 武居利史

夏休みになると、子供たちの声があふれる。この季節は子供向けの企画で盛りだくさんである。小学生はもちろん、美術鑑賞教室として個別に来館する中学生でもいっぱいになる。絵の国の妖精「ばれたん」が作品を案内する展示は三年前に始まったが、今年は全ての展示室を使って開催される。「ばれたん」に導かれて会場をめぐるうちに、作品について理解が深まる仕組みである。

創作室では、小・中学生が気軽に造形活動を楽しめるティーンズスタジオの夏休みスペシャルがあり、公開制作室では、オブジェを作るアメリカ人の彫刻家とふれあうこともできる。府中市立小中学校教育研究会 図工・美術部との共同によるワークショップ、多摩地区図画工作教育研究会との共催による教員のための研修会も計画されている。

夏の美術館は、子供たちが主役だ。美術館で楽しんでうちに芸術の世界にすっかり親しんで、感性と創造性の豊かな子供たちに育つことを願っている。

あとがき

東京国立博物館で開催されていた「国宝 阿修羅展」を鑑賞する機会があった。奈良興福寺創建1300年を記念しての仏教美術の至宝は、94万人を超える来場者を魅了した。時代を超えて語りかける人間的な眼差しと表情の阿修羅像。その厳しさと優しさが心に刻まれた▼過日京都西本願寺御影堂の10年間に及ぶ改修工事の様子が、放映された。当時の匠たちの知恵と技術の素晴らしさは、400年を経過した今も、生かされ継承されていた▼同じように、日光東照宮の修復工事も始まった。ここにも先人の見事な技が光っていた。これから18年間を費やす大工事である。作業を進める現代の名匠たちの後世に残る復元が、楽しみだ▼明治5年8月:「必ず邑に不学の戸なく、家に不学の人なからしめん」と、日本近代教育の礎である学制が頒布されてから136年目を迎えた。その教育には、学ぶ楽しさと生きる喜びをはぐくむ不変の役割がある▼前述の文化遺産は、どれも叡智の結実である。今、新しいものを求める風潮の中にあって、教育はその本質を見失わず、子どもの学びが開花する実践を心掛けたい。(小澤 宏)